

令和5年度 茅ヶ崎市「市民討議会」報告書

テーマ：

「語りませんか？ あなたの推しのチガサキカルチャー

～地域で学び続けるワクワクを、話し合いと創造力^{クリエイティビティ}で新発見～

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

目次

実行委員長あいさつ.....	1
1 市民討議会の実施概要.....	2
(1) 日程等.....	2
(2) 討議テーマと情報提供.....	2
(3) スケジュール.....	2
(4) 参加者内訳.....	3
2 市民討議会の討議のヒント.....	4
3 市民討議会の提言のまとめ.....	5
・討議 1.....	5
・討議 2.....	10
4 市民討議会を振り返って.....	18
5 アンケートの結果.....	23
(1) 事前アンケート.....	23
(2) 事後アンケート.....	26
(3) 不参加者アンケート 集計(有効回答数360).....	31
6 市民討議会講評.....	42
茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き.....	43

実行委員長あいさつ

茅ヶ崎市ではもはや恒例イベントとなっている市民討議会ですが、2023 年度も無事に開催することができました。今年度も参加者が一堂に会し、対面での話し合いができたことは、とても幸いを感じています。そして、参加のみなさまにより、所定のテーマについて熱く語っていただきました。ここに、その報告書をお届けいたします。

この討議会は8月20日（日）の午後、茅ヶ崎市役所で開催されました。当実行委員会の議論を経て、全体テーマは「語りませんか？ あなたの推しのチガサキカルチャー～地域で学び続けるワクワクを、話し合いと創造力（クリエイティビティ）で新発見～」と決まりました。「茅ヶ崎市文化生涯学習プラン」の方向性を明確化するため、かなり大胆な討議を計画しました。そのため、造語を含む斬新な言葉でテーマが構成されました。当日は抽選で選ばれ、参加を承諾して下さった27名のみなさまのご出席を得て、2回の話し合いが行われました。会場での討議にご協力下さった市民参加者のみなさまに、あらためて、深く感謝申し上げます。

毎度の説明で恐縮ですが、茅ヶ崎市の市民討議会の特徴は、①抽選で選ばれた方に招待状を発送し、②その参加者による話し合い（グループ・ディスカッション）を行い、③そこでまとまる「話し合われた意見」を市の計画づくりに活用していく点にあります。つまり、「ルールがある話し合い」という表現がふさわしいように思われます。当日の会場では、「わたし」の思いが交換され、やがて「わたしたち」の意見がゆるやかに成立していきます。それゆえ、個人による意見の表明や、アンケートによる集計結果とは別の、「もう1つ」の意見表明方法として注目されています。だからこそ、計画担当課も、「話し合われた意見」と個人の意見やアンケートの結果とを比較し、どのような共通点や相違点があるかを検討可能となります。こうして、茅ヶ崎市のより良い計画にむけて、市民の思いが多面的に結び付けられるわけです。茅ヶ崎市ではひきつづき、本報告書とともにこれらの提案内容を検討し、採用可能なものは積極的に計画案に取り入れて下さればと思います。

そして、この場をお借りし、ワークショップを企画・運営して下さったみなさまにも、お礼を申し上げます。とくに、当日の情報提供では、野田邦弘先生（横浜市立大学）にたいへんお世話になりました。また、実行委員会メンバーの茅ヶ崎市、公益社団法人茅ヶ崎青年会議所、文教大学による協力と連携は、今回も見事なものでした。

末筆ではございますが、討議会と本報告書が1つのきっかけとなって、これからの文化生涯学習に市民の構想力と活動がますますいかされることを願っております。そしてこれからも、市民討議会が茅ヶ崎市の良き「きっかけ」であり続けるならば、この上ないよろこびでございます。

茅ヶ崎市「市民討議会」 実行委員長
文教大学 国際学部 山田修嗣

1 市民討議会の実施概要

(1) 日程等

ア 日 時	令和5年8月20日(日)	13時00分～16時00分
イ 会 場	茅ヶ崎市役所本庁舎4階	会議室2～5
ウ 参加者	27名	
エ 主 催	茅ヶ崎市	
オ 企画運営	茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会	(文教大学湘南総合研究所及び公益社団法人茅ヶ崎青年会議所で構成)

(2) 討議テーマと情報提供

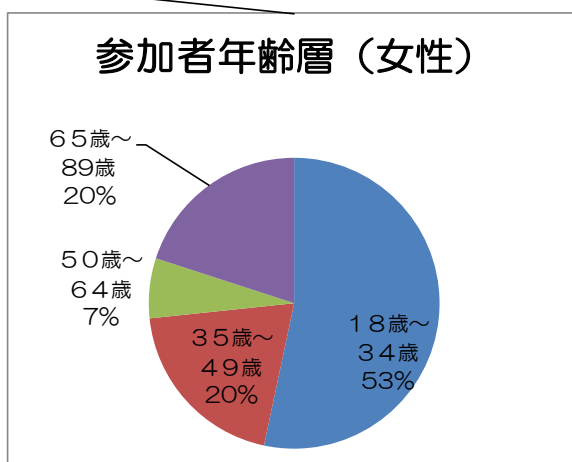
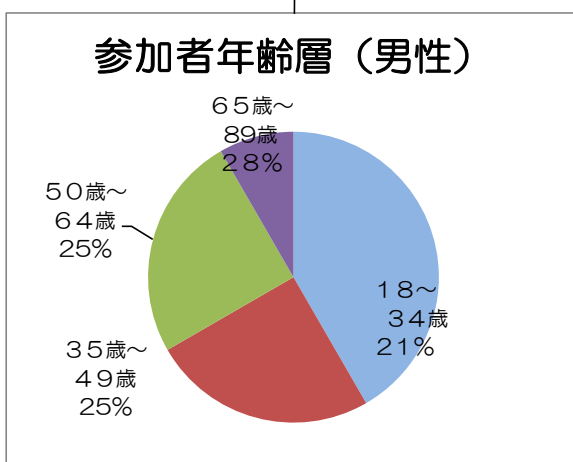
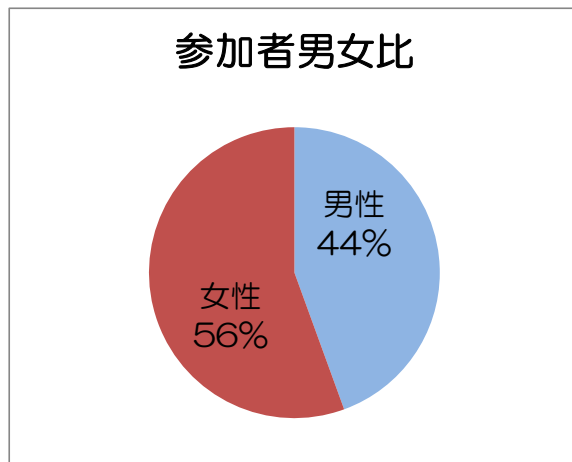
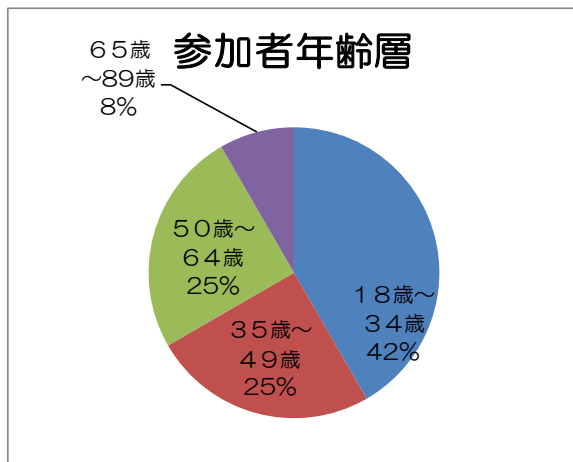
- ア 全体テーマ
「語りませんか？ あなたの推しのチガサキカルチャー
～地域で学び続けるワクワクを、話し合いと創造力^{クリエイティビティ}で新発見～」
- イ 個別テーマ
討議1『あなたが考える文化・生涯学習とは』
討議2『チガサキカルチャーを活かした、茅ヶ崎のまちづくりを考える』
- ウ 情報提供者
大久保 貴永(茅ヶ崎市文化推進課 職員)
野田 邦弘(横浜市立大学大学院客員教授)
- エ 情報提供
討議1「茅ヶ崎の文化や生涯学習について」
討議2「文化・生涯学習の活用アイデアについて」

(3) スケジュール

13:00	開会、市長挨拶、主催挨拶、実行委員長挨拶
13:05	市民討議会の概要とテーマの説明
13:25	情報提供①
13:30	グループ討議①
14:15	【休憩】
14:25	情報提供②
14:35	グループ討議②
15:20	【休憩】
15:25	グループ討議内容発表
15:50	1日の振り返り
16:00	閉会

(4) 参加者内訳

	抽出数	参加者数		
		男性	女性	合計
18歳～34歳	850	5	8	13
35歳～49歳	550	3	3	6
50歳～64歳	350	3	1	4
65歳～89歳	250	1	3	4
合計	2000	12	15	27



2 市民討議会の討議のヒント

(1) 討議1『あなたが考える文化・生涯学習とは』

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	お名前、お住まい（地区）、茅ヶ崎居住歴、最近興味がある「文化・カルチャー」を1つ紹介する。
「文化・カルチャー」をリストアップする	文化やカルチャーと聞くと、高尚なもの・敷居が高いものと思われる傾向があるが、私たちの身の回りにある趣味や習慣、仲間と楽しんでいること、日常的にいつも何気なくやっていることも含まれる。これを踏まえ、思いついた「文化・カルチャー」を話し合う。
茅ヶ崎（地域・地元）に関連が深いものと、一般的なもの・どの地域でも成立するものに分類する	話し合われた「文化・カルチャー」について、参加者目線で茅ヶ崎らしいものを選び、その理由を説明してもらおう。
茅ヶ崎らしい文化やカルチャーを「チガサキカルチャー」と定義し、イメージを要約する	人に関するもの、自然に関するもの、歴史に関するものなど、それぞれをグループ化し、キーワードやフレーズをリストアップする。

(2) 討議2『チガサキカルチャーを活かした、茅ヶ崎のまちづくりを考える』

内容	討議のヒント・きっかけ
文化やカルチャーの意義や価値を話し合う	文化やカルチャーは、私たちが学んだり、伝えたり、残そうとしたりする「活動」によって意義や価値が生まれることから、私たちに求められる活動について話し合う。

3 市民討議会の提言のまとめ

・討議 1

討議 1 では、「あなたが考える文化・生涯学習とは」をテーマに、自分の身の回りにある「文化やカルチャー」に該当すると思うものをあげる。

私たちが日常的に、どのような「文化やカルチャー」を楽しんでいるか、大切にしているかを話し合う。

茅ヶ崎という地域に特徴的なものを「チガサキカルチャー」と考え、これからも大切にしたい、もっと知ってもらいたいもの・ことは何かを討議。

グループA	グループ意見
<p>(1) 自分の身の回りある「文化やカルチャー」と聞いて該当すると思うもの。 どのような「文化・カルチャー」を楽しんでいるか、大切にしているか（趣味や習慣なども含む）。</p>	<p>海 / マリンスポーツ / マラソン / 自由な感じ、ゆったりしている感じ / お祭り / 魚や海の幸 / 有名人が出ている</p>
<p>(2) チガサキカルチャーのイメージや特徴はどのようなものがあげられるか。 これからも大切にしたいもの・ことは何か。</p>	<p>海があるからマリンスポーツが文化 / 海などオリンピック選手が出ている / 茅ヶ崎の自由な感じ教育の質が文化 / 習い事の幅の広さが文化 / 食文化→米、ビール、みかん、湘南の地野菜など食文化がある / 個人店が多い / 祭りがある、海に神輿が入る文化→明け方に見に行ったりする / 地引網に参加したことがある、取ったしらすを食べる→海があるからできること / 茅ヶ崎=湘南のイメージがあるサザンや加山さんなどで知名度が高い / 市民活動が多い / 市民活動=生涯学習に繋がっている、大きい特徴 / 野良猫が多い→保護猫活動が多い / 市民活動で里親を探している、野良猫もほぼいない、自治体での保護活動など進化していると感じる / 子供の数も増えている→子育てしやすい / 10年前くらいに日曜日に趣味を中学生などに教える活動があった→ボランティアで参加していた / 野球、テニスなど地域に開放していた / 学校の隣に畑がある / 生活の授業で地域に密着している→一緒に野菜を育てるなど</p>

グループB	グループ意見
<p>(1) 自分の身の回りある「文化やカルチャー」と聞いて該当すると思うもの。</p> <p>どのような「文化・カルチャー」を楽しんでいるか、大切にしているか（趣味や習慣なども含む）。</p>	<p>趣味 / 音楽 / 軽音 / バンド / ギター / サーフィン / スカッシュ / 手芸</p> <p>習慣 / 自宅の庭づくり / 草むしり / 富士山をながめる / 海を見る / 海での散歩 / 海まで散歩</p> <p>まちの特徴 / 建物が低い / 眺めが良い / 空が広く見える / 人付き合い / 友達との付き合い / 友達との情報共有 / 自転車文化 / 自転車とサーフィン / 自転車にサーフボードを乗せて走る（問題にもなる）</p> <p>有名人 / 山田耕筰 / 赤とんぼ / 宇宙飛行士 / 野口さん（北陵高校出身で地元の誇り） / 芸能人が多い / 加山雄三 / サザンオールスターズ（なかなかコンサートの抽選に当たらない）</p> <p>活動的な人が多い / 朝から活動している / サーフィン / 散歩 / テニス / まちづくりの特徴 / 駅の周りの高い建物が多い / ビルにより市内の景観が変わってきた / 道幅が狭い</p>
<p>(2) チガサキカルチャーのイメージや特徴はどのようなものがあげられるか。</p> <p>これからも大切にしたいもの・ことは何か。</p>	<p>海 → サーフィン / 海を楽しむ / 海とともに楽しむ / 海のおいがる街に（以前よりも海のおいがしなくなった）</p> <p>富士山 → 富士山がきれい / きれいに見える / 写真を撮る / 写真をSNSに投稿</p> <p>ドライブ → 友達とドライブ / 海辺のドライブ</p> <p>個人商店 → おしゃれなお店 / 市の南側におしゃれなお店が多い / コーヒー屋 / パン屋 / 食事 / 食事会 / ママ友のお食事 / お店に詳しくなる / 小さいお店が多い / 個人商店が多い /</p> <p>イベントスペース → イベントでの店舗（出店や訪問） / POP-UP ストア / 夕方のチャイム</p> <p>お祭り → 多くのお祭り / 花火大会 / パレード / パレードでのバトン / 家族もパレードに出ていた / さまざまな出し物がある / 湘南祭 / 新しいおまつり</p> <p>穏やかな気候 → 台風の被害が少ない / 雪があまりふらない / 風がよく通る / 都会より涼しい / エアコン無しでも大丈夫（な時がある） / 雨が少ない</p> <p>地元の食品 → 生しらす / はまぐりも有名</p> <p>姉妹都市 → ホノルル / アロハシャツ / アロハまつりの創設に期待 / アロハシャツを着ていると割引を受けられるとよい / フラ / アロハシャツを茅ヶ崎で（積極的に）売って欲しい</p>

グループC	グループ意見
<p>(1) 自分の身の回りある「文化やカルチャー」と聞いて該当すると思うもの。 どのような「文化・カルチャー」を楽しんでいるか、大切にしているか（趣味や習慣なども含む）。</p>	<p>浜降祭でお神輿をかつぐ / 海のイメージ（サザンビーチ） / 海が好き / サーフィン / 江の島よりこじんまりしていてビーチに行きやすい / 環境が良い（食事、シャワー室、人） / 家の周りを散歩し海に入る / 犬を飼っている人多い / 犬同士の交流をしている / とことこマルシェ / 健康づくり（テニス、サイクリング、散歩） / 健康のためテニスをしている / おしゃれな店が多い / 個人の飲食店 / 音楽 / 花火大会 / 住みやすさ（生活のしやすさ） / サザンオールスターズ（のライブ） / 日帰り温泉（竜泉寺の場、湯快爽快） / お寺（鶴嶺八幡宮）や神社 / 公園（柳島しおさい公園、里山公園） / 作家の開高健 / 宇宙飛行士の野口聡一 / 文教大学の埋蔵文化財</p>
<p>(2) チガサキカルチャーのイメージや特徴はどのようなものがあげられるか。 これからも大切にしたいもの・ことは何か。</p>	<p>浜降祭でお神輿を担ぐ / 誰でも担げる / 茅ヶ崎市出身ではない人たちは知らない / YouTubeなどの情報発信が特にならない / せっかく独自の文化あるのに参加したくても敷居が高くて声を上げられない / 神輿体験を開いてみるのはどうか / 例祭は小さい地区単位で行っているからそういうものから参加するのもいい</p> <p>生活の中に海がある / 茅ヶ崎といえば海 / サザンビーチのイメージ / 環境の良さ（食事、シャワー室） / 人が多すぎず少なすぎずちょうどいい / 江ノ島よりこじんまりしていて行きやすい / 沿岸を犬と散歩できる / 犬を飼っている人が多いから犬の散歩を通して犬同士や人との交流ができる / ドックランをつくってほしい / 犬を預けられる場所があるから犬も嬉しい / 海が好き / 海での事故もある / サザンビーチ以外にも海岸の活用</p> <p>個人店の多さ（特に駅南口） / お店の地図を出している（とことこマルシェ） / おしゃれなお店が多い / 茅ヶ崎でおしゃれなお店を開きたいと思う人が多い / 個人店やチェーン店以外の店は料理の値段が高い（特に駅南口） / 駅周辺のお店は高い / 茅ヶ崎に長く住んでいる人は値段が高いのが当たり前になっている / 常連さんがいてあまり開かれていないから入りにくい / お店に入りにくい雰囲気は茅ヶ崎のもう一つの特徴（入りやすくなってほしい）</p> <p>花火大会 / 茅ヶ崎市の花火以外にもサザンの曲に合わせた花火もする / 芸術花火もある / 家から周辺の地域の花火も家から見える（茅ヶ崎の花火との比較ができてしまう）</p> <p>住みやすさ / とても交通の便がよい（どこにでも行ける） / 住みやすいが遊ぶ場所が少ない / 遊ぶのは茅ヶ崎以外 / 有名なところがパッと思いつかない / 友人が来ても連</p>

	れて行く場所がない / 商業施設がない
--	---------------------

グループD	グループ意見
<p>(1) 自分の身の回りある「文化やカルチャー」と聞いて該当すると思うもの。 どのような「文化・カルチャー」を楽しんでいるか、大切にしているか（趣味や習慣なども含む）。</p>	<p>祭の神輿 / 海や山などの自然 / 漁港 / 釣り人やサーファー / 自転車 / 浜降祭 / クラフトビール 〈どのように楽しんでいるか〉 趣味として楽しむ / 祭に参加する / 神輿担ぎに参加する / 野球に参加する / 公園に行く / 歌に出てくる場所を楽しむ</p>
<p>(2) チガサキカルチャーのイメージや特徴はどのようなものがあげられるか。 これからも大切にしたいもの・ことは何か。</p>	<p>加山雄三やサザンオールスターズなどの茅ヶ崎に関する音楽 / 浜降祭 / 自転車を使っている人が多い / 明るいイメージがある / 資料館 / さまざまな要素を組み合わせているところ / アロハを着るイベントなど</p>

グループE	グループ意見
<p>(1) 自分の身の回りある「文化やカルチャー」と聞いて該当すると思うもの。 どのような「文化・カルチャー」を楽しんでいるか、大切にしているか（趣味や習慣なども含む）。</p>	<p>そもそも文化やカルチャーの捉え方は人それぞれであり、茅ヶ崎ならではのモノは何か 学校のクラスで海へ行ってご飯を食べる / 文化会館でのイベントなど / 地域との触れ合いが多い / 白ナスやしょうなんゴールドをはじめとした独自の食文化 / サザンや加山雄三といった特定の音楽 季節関係なく半そで短パン+ビーチサンダル / 市役所職員のアロハシャツ / 外でもアロハシャツを着られるのは茅ヶ崎ならではの 自転車が多い / 自転車大国 / その分歩道が狭いから広くしてほしいところがある それぞれが独自の趣味を持った活動をしている / 個人経営のお店が多い</p>
<p>(2) チガサキカルチャーのイメージや特徴はどのようなものがあげられるか。 これからも大切にしたいもの・ことは何か。</p>	<p>イメージ・特徴 → イベントが多く開かれている（アート・スポーツ・音楽など） / 市内全体的にアクティブ / 外で活動をする人が多い 個人経営の店や自分でイベントを開催 / 好きなことを生業として活動する人が多い / コミュニティが強くて横の繋がりが広い 遊んだり集まったりできる場所が少ない / イベントを行える施設やスペースも少ない / 取り壊しもされている →</p>

	繋がりや活発な市民活動を大切にするためにも、無くなりつつある施設・スペースをもっと増やしていくべき
--	---

グループF	グループ意見
<p>(1) 自分の身の回りある「文化やカルチャー」と聞いて該当すると思うもの。 どのような「文化・カルチャー」を楽しんでいるか、大切にしているか（趣味や習慣なども含む）。</p>	<p>イベント / 祭り / 浜降祭 / 大岡越前祭 / 里山公園でのお祭り / こいのぼり / BBQ / たけのこほり / 柳島キャンプ場 / スポーツ / 空手 / フットサル / ゴルフ / サーフィン / マリンスポーツ / フラダンス 趣味 / バイク / 自転車 田んぼ(北部) / サザンC / 植物園 / 海沿いに別荘 / ハワイとの姉妹都市 / 美容室が多い / パン屋さんも多い / パンフェスティバル / チェーン店じゃないお店が多い / ワインの専門店 / クラフトビール サザンオールスターズ / フランク人が多い / 温かい人が多い</p>
<p>(2) チガサキカルチャーのイメージや特徴はどのようなものがあげられるか。 これからも大切にしたいもの・ことは何か。</p>	<p>スポーツ → アウトドア施設が多い / フラダンス / サーフィン / サファー / 海沿いでサイクリング / 海沿いのサイクリングロード 自然 → 海 / 北部は自然豊か (田んぼ・緑) / 里山 芸能人 / サザンオールスターズ / 加山雄三 食べ物 / パン屋 (フェスティバルがある) / ハンバーガー / 酒屋 / ワイン専門店 / クラフトビール / ブランド牛 / ブランド豚 / ブランドアイス / しらす イベント / 祭り (茅ヶ崎ならではの) / クラフトアートショップ / アロハマーケット / 里山公園 / こいのぼり / BBQ / キャンプ → アウトドアできる施設が多い ファッション / 古着屋 (古着ユーザーが多い) / 美容室多い / 住んでいる方々の特性 / 話しやすくフランクな人たち / 皆あたたかい / 出勤前に海に行く人 → 海が好きな人が多い 特に残したいもの → 祭り (浜降祭など) / サザンオールスターズ 願い → 自然を増やしたい (北部に住んでいる方) 学びに繋がりそうなもの・こと → 自然をもっと増やす / クラフトアートショップ / 古着屋 / ブランド牛 / 茅ヶ崎のアイス / 資料館</p>

・討議 2

討議 2 では「チガサキカルチャーを活かした茅ヶ崎のまちづくりを考える」をテーマに、討議 1 で考えた「チガサキカルチャー」を残したり、維持したり、発展させるために何が必要か、私たちにできることは何かを話し合う。

私たちがシェアしたい、残していきたい、楽しみ続けたい「チガサキカルチャー」はどのようなものか。

カルチャーについて学び合うことの重要性やカルチャーを楽しみ、伝えていくことで茅ヶ崎がどのように豊かになるかを討議。

グループA	グループ意見
<p>(1) 討議 1 で話したカルチャーについて日常的に語り合うことはあるか。語り合っていないとしたら、それはなぜか。(カルチャーに関心をもつきっかけ、どうしたらきっかけに出会えるかなど)</p>	<p>住んでいるから当たり前になってしまっている → 外の人から言われて気付かされることがある / 自由度が高いとかゆったりしているなどは住んでいるから当たり前で気づかない → 当たり前と思っていることは話したりはしない</p>
<p>(2) 「文化、カルチャー」をこれからも残したり、維持したり、発展させるために、誰に、どのように伝えていきたいか。 伝え続ける、知ってもらうための実践をするのに活用できそうな場所はどのようなところが考えられるか。</p>	<p>住みたいまちランキングも上位にあたりする → 魅力のあるまち / 食文化(しらすなど)があまり知られていない気がする → 道の駅や個人店などで売り出していくことが必要 / 茅ヶ崎に1つ牧場があるが地域内人しか知らない → 何か地域の食材を使ったグルメをつくる → 地元のアイス屋のアイスの材料を地元で調達するなど / 食文化+お店とコラボをして地元のものをPRしていく / 高齢者と子供のワークショップなどの活動があるとなお良い → 交流の場、行けば誰かがいる場所が必要(ランドマーク的なもの) / 海側と山側の間地点に何もないのでランドマークのような何かが必要 / ランドマーク的な建物で子供が遊べる場所や習い事ができたりするといい → 教える人は地域の大人がボランティアで教えるなど(大人も子供も交流できる場所) / 子供が外に出て遊べる環境があるとPRできるのではないかと / 外でも中でもゆったり生活できる場所 → 「外」は海やマラソンなどができる、「中」は人がそこを目指して集まる場所</p>

<p>(3) 私たちがシェアしたい、残していきたい、楽しみ続けたい「チガサキカルチャー」は何か。 私たちが考える「チガサキカルチャー」を提案。</p>	<p>市民活動を若い人へ繋げたい → 現状繋がっていない / 海側と山側の人、昔から住んでいる人と新しい人、若い人と高齢者などの交流するイベント / そのための場所が必要 → 地域全体で共有できれば良い / 地元愛が強い人、地域に残る人が多い、(継続的な)地元の祭りや運動会などイベントが必要 / 茅ヶ崎全体でのイベントが必要 / 子どもたちも楽しめる場所 → 空いている時間に子どもたちと好きなことを共有できる場所 / 将来やりたいテーマについての体験ができる場所を一つにまとめる → 集約されている場所が必要 / 新しくできたホテルの1階のスペースを活用できないか / 文化的な活動、スポーツ活動など体験の幅を広げられる場所</p>
---	--

グループB	グループ意見
<p>(1) 討議1で話したカルチャーについて日常的に語り合うことはあるか。語り合っていないとしたら、それはなぜか。(カルチャーに関心をもつきっかけ、どうしたらきっかけに出会えるかなど)</p>	<p>日常の語り → 祭り / 祭りの約1ヶ月前からよく話題になる / 祭りについて話す / 花火のことはよく話す / おいしいお店のこと / 市外の人とも市内の人とも話す / パン屋情報 / 家族がパン好き / パンをよく買う / パン屋についての話題 / 職場にパンを持っていく / パン屋の集合出店(ちがパン)が行なわれるのが楽しみ / (市内放送の)チャイム / メロディが変わったときに家族と話した市民同士で話す機会がよくある / サザンオールスターズについて / ホノルルについて / フラについて / 趣味がフラなのでよく話題にあがる ホノルルについてあまり話したことがない / アロハシャツについてまわりに話すことがない</p>
<p>(2) 「文化、カルチャー」をこれからも残したり、維持したり、発展させるために、誰に、どのように伝えていきたいか。 伝え続ける、知ってもらうための実践をするのに活用できそうな場所はどのようなところが考えられるか。</p>	<p>海のイメージが強い / 海の認知しかない印象 / 海以外についても認知度を高めたい 国際的イベントの創出 / 世界にも茅ヶ崎の良さを発信 / 茅ヶ崎イメージを広げる / 湘南地域には海外の人も多いので発信が大切 / 映画祭や映像系のイベントを活用 残したいもの → 2次創作品を作る / 積極的に発表 / サザンオールスターズや山田耕筰のイメージを用いる / 加山雄三などゆかりのアーティスト / 山田耕筰はずっと残りそう(残したい) / 音楽の活用 / サザンオールスターズを全面的に推す / ウクレレやピアノのレッスン / サザンの曲をひけるようになる講習 落書き / 落書きが多い / 落書きは困る / 落書きのアート化 / イラストレータやプロの手を借りる / かわいらしく変えていく / 落書きアートについて横浜の取り組みを</p>

	<p>参考に / 茅ヶ崎はプロが多く住んでいる / プロのレッスンを受けられるのは魅力的 / 専門家に教えてもらう</p> <p>個人商店巡りが楽しみ / 個人商店巡りを企画化 / 開催時間の工夫 / 閉店時間や店休日と個人の生活が合わない / 行きやすくする仕組みがほしい</p> <p>カルチャーセンターの活用 / 10年ほど前まではよく利用 / 現在は情報が流れてこない (流してほしい) / コロナの影響で開催回数も少ないかも / 自分の年齢の問題があるかも / 若者は行きにくい / 上の年代の人達がいるイメージ</p>
<p>(3) 私たちがシェアしたい、残していきたい、楽しみ続けたい「チガサキカルチャー」は何か。私たちが考える「チガサキカルチャー」を提案。</p>	<p>学びに変える → 芸術祭の立ち上げ / 茅ヶ崎市内のアートを活用 / 茅ヶ崎のアートを浸透 / 芸術を地域に浸透 / アートに興味を持つ市民が増えるように / アートに触れる場所や機会を増やす</p> <p>イベントを工夫する / イベントを作る / イベント開催を増やす / 大きなイベントを作る / 茅ヶ崎ならではのイベントが必要 / 市民にも市外の人にもかかわってもらうように / 茅ヶ崎のアピール / 海外の人にも発信 / 有名人を呼ぶ / ミーハー心をくすぐる</p> <p>既存の祭りの紹介 / 名前だけでなく関心と理解を増やす / 祭りの「目玉」を作る / マスメディアの活用 / TVで紹介してもらう</p> <p>音楽に触れる機会を増やす / サザンでなくても良い / 音楽が続くまち / 音楽を広げて音楽でまちを広げる / 自分の好きな曲をピアノで演奏できる人を増やすなど</p> <p>新しい博物館の活用 / 北部の施設の活用</p> <p>(適度な) 田舎のイメージを大切に / 田舎は場所もあり活動もしやすい / さまざまな体験会ができそう / 農業や果樹園の活用 / 体験会があれば行ってみたい / 学校での体験を増やす / 小さい頃から現場の体験を得てもらう</p> <p>敬老会の復活 / 高齢者の活躍がカギ / 移動手段の拡充とセットに / 移動しやすいと参加しやすくなる</p>

グループC	グループ意見
<p>(1) 討議 1 で話したカルチャーについて日常的に語り合うことはあるか。語り合っていないとしたら、それはなぜか。(カルチャーに関心をもつきっかけ、どうしたらきっかけに出会えるかなど)</p>	<p>遊ぶ、遊ぶ場所、人が集まる場所があると良い(住んでいる人は遊ぶ時外に出てしまう) / 商業施設がない → 大きい商業施設が欲しい / 茅ヶ崎は形のある観光地がない / 形のないもので観光客を呼ぶのは難しい ブランド力が足りない / 地域ブランドがほしい / 情報のコンテンツが少なすぎる → 茅ヶ崎と言ったらこれだ! というほどのカルチャーがない / パンチ力のある魅力がない / 海やサザンオールスターズのイメージに固執しすぎ / 朝市 / 祭り / 海のイメージからサーフィン大会 発信力(茅ヶ崎市のPR力)が弱い → 若者や学生もターゲットにもっとカジュアルな方法で発信したほうがいい (YouTubeなどのSNS) / 市民の暮らしに寄り添った茅ヶ崎の地図がない ホノルルと姉妹都市の割にはハワイ感があまりない / 海を見ながら散歩の途中でくつろげるようなカフェがあったらビーチを堪能できるひとつになる(ペット同伴可能なら尚更いい)</p>
<p>(2) 「文化、カルチャー」をこれからも残したり、維持したり、発展させるために、誰に、どのように伝えていきたいか。 伝え続ける、知ってもらうための実践をするのに活用できそうな場所はどのようなところが考えられるか。</p>	<p>若者の興味を引く / PRのため場所や人をヒントに / 茅ヶ崎に注目しすぎではなく斬新なアイデアがほしい / 茅ヶ崎のおしゃれな海沿いのカフェ紹介 / マップづくり (レンタサイクル、ペット同伴可能なお店など) → お店のマップがあったら観光客は嬉しい / ホノルルと姉妹都市をいかしてもっとハワイ感を出す / お店を回ってスタンプラリー / コラボイベント / フェスや大会の開催(有名な人を呼ぶことで知名度を上げ、文化を広げる) / 定期的に朝市開催 / 祭りの統合で長期間開催 / 長期的なイベントを実施 / 常にイベントがあるのが重要 / 市外の人も来てくれる / 市民も参加する 「今」と「これから」をつなげるための働き / 学校での学ぶ機会をつくる / 総合の時間で茅ヶ崎について学ぶ / 魅力発見 / 自分が住んでいるところはどんなまちなのかを知る / 小学生、中学生、高校生、大学生、若者の発想や協力も得てSNSで茅ヶ崎市を今風にアピール 発信の仕方を考える / 「茅ヶ崎らしさ」にとらわれるのは学んでから発信するから / 発信してから学んだ方がいい / 発信しようと思うと学ぼうと思う 他のまちに勝るような大きい商業施設 / 資金と企業力などが必要なビックプロジェクトは問題でもある / でも将来的に大きな施設は欲しい</p>

<p>(3) 私たちがシェアしたい、残していきたい、楽しみ続けたい「チガサキカルチャー」は何か。 私たちが考える「チガサキカルチャー」を提案。</p>	<p>図書館などの公共施設の活用 / 誰にでも開かれた（行きやすい、心地よい）施設で茅ヶ崎を知るイベントや講座を開催 / 知るきっかけを作る / 市内には専門家や研究者もいるからその人たちにも協力してもらう 神輿体験や発掘調査体験などのイベント / 市民や外部からの人も巻き込む / 茅ヶ崎に興味関心を持ってもらう 犬を飼っている人にとって海岸沿いを散歩する良さの発信 →犬を飼っている人にとって生活のしやすい場所だということを知ってもらう 市役所の人には SNS をもっと活用してほしい（SNS 活用の能力をみがいてほしい） / 学生や若者に協力してもらう</p>
---	---

グループD	グループ意見
<p>(1) 討議 1 で話したカルチャーについて日常的に語り合うことはあるか。語り合っていないとしたら、それはなぜか。（カルチャーに関心をもつきっかけ、どうしたらきっかけに出会えるかなど）</p>	<p>海は放置していても残る / だから意識する機会がない / 若い世代の人のなかで文化の広がりが少ない / 狭い範囲でしか行われていないことやものがある / 子どものうちに学習することはあっても興味がなかった / 茅ヶ崎と学びを関連づけるのが難しい</p>
<p>(2) 「文化、カルチャー」をこれからも残したり、維持したり、発展させるために、誰に、どのように伝えていきたいか。 伝え続ける、知ってもらうための実践をするのに活用できそうな場所はどのようなところが考えられるか。</p>	<p>ツアーやイベント / 知られる機会を増やす / 若い人に向けて広報活動を行う / 海から始まって1つに繋がるような情報収集を可能にする / 日頃から情報にアクセスできる環境 / 小学校などの学びに取り入れる / マイナンバーを活用する / 遊べる場所を増やす / 気軽に（30分でも）スポーツに触れられる環境づくり / 移住してきた人や在住歴が浅い人に祭に参加してもらう</p>
<p>(3) 私たちがシェアしたい、残していきたい、楽しみ続けたい「チガサキカルチャー」は何か。 私たちが考える「チガサキカルチャー」を提案。</p>	<p>サザンオールスターズ等のアーティストと今後も関連づける / 海をいかす / ハワイとの繋がりを活用する / 地域の祭を盛り上げる</p>

グループE	グループ意見
<p>(1) 討議 1 で話したカルチャーについて日常的に語り合うことはあるか。語り合っていないとしたら、それはなぜか。(カルチャーに関心をもつきっかけ、どうしたらきっかけに出会えるかなど)</p>	<p>日常的に語り合うことはあまりない カルチャー・文化があるとわかっているが、自分から触れに行く人が少ない / ホームページで発信するが見る人がいない / イベントは開かれているが、もっと定期的に行わないと人目に触れず、文化にはならない / カルチャー・文化に触れるきっかけや機会があまりにも少ない 〈きっかけに出会うには〉 敷居を高くせず、簡単にカルチャーにふれあえる環境づくり / 学校の学習時間で文化に触れ合う機会を導入 / 「その地域が好き！」という気持ちは、小さい頃からのイベントが基盤 / 食文化 / 学校の給食に茅ヶ崎ならではの食材を使ってみる / 茅ヶ崎の魅力の発信 / 茅ヶ崎で生まれ育った人たちから移住してきた人やカルチャーを知らない人への発信 / イベントを開く（手っ取り早く色々な人にカルチャーを知ってもらおうきっかけ） / ジャンルを限定せずに幅広いイベント / 色々な人が興味を持ってくれる パシフィックビーチフェスティバル（音楽×クリエイティブ×子供の遊び場が合体）は参考例 / 色々なジャンルを掛け合わせる / 芸術品の展示会 / 屋内イベントを海でやってみる / 美術館で茅ヶ崎にゆかりのあるクリエイターの茅ヶ崎をモチーフにした作品を展示 / 博物館でのイベント（茅ヶ崎の歴史に触れてもらう） 道の駅の活用 / 農産物の発信も可能 / 海や美術館、博物館などのイベントが開かれる場所で食品の物品販売</p>
<p>(2) 「文化、カルチャー」をこれからも残したり、維持したり、発展させるために、誰に、どのように伝えていきたいか。 伝え続ける、知ってもらうための実践をするのに活用できそうな場所はどのようなところが考えられるか。</p>	<p>様々な年代に向けた、文化に触れるきっかけづくり / 茅ヶ崎にゆかりのあるモノを使ったイベント ジャンルは幅広く、あえて限定しない / 茅ヶ崎らしさをコンセプトにしたイベント 〈活用できる場所〉 海（人は一番集まりやすい） / 美術館（森に囲まれているため、騒音トラブルは起きない） / 歴史的建造物（茅ヶ崎には意外と少ない） / 博物館（最近出来た） / 道の駅（公式WEBサイトもあり、拡散ができる）</p>

<p>(3) 私たちがシェアしたい、残していきたい、楽しみ続けたい「チガサキカルチャー」は何か。 私たちが考える「チガサキカルチャー」を提案。</p>	<p>市民活動はこれからも続けていくべき / 他の市よりも確実に市民活動は活発 / どんどん行っていきたい 海や美術館 / カルチャーに触れることができる貴重な場所 / 残していく必要がある 市民活動の場所やカルチャーに触れ合える場所を確保 / 市民と政府が関わりを持って活動</p>
---	--

グループF	グループ意見
<p>(1) 討議 1 で話したカルチャーについて日常的に語り合うことはあるか。語り合っていないとしたら、それはなぜか。(カルチャーに関心をもつきっかけ、どうしたらきっかけに出会えるかなど)</p>	<p>語り合うことはある → イベント関連(祭りなど) / 世代によって差が生じている / お祭りで神輿をやらなかった → 親の反対があったから あまり語り合うことはない → ずっと身近に存在している文化 / そこまで意識したことがないため / 幼い頃から文化について伝え始めればきっかけ作りになる 食文化(茅ヶ崎ブランドの商品) / ほかの地域と比べるとそこまで特徴ではない / ハンバーガーで茅ヶ崎とはピンと来ない / 茅ヶ崎発の食べ物があまりわからない / 食文化を広める機会が少ない / おいしいものはある 今、茅ヶ崎にある文化を大切にする。</p>
<p>(2) 「文化、カルチャー」をこれからも残したり、維持したり、発展させるために、誰に、どのように伝えていきたいか。 伝え続ける、知ってもらうための実践をするのに活用できそうな場所はどのようなところが考えられるか。</p>	<p>市外者と子どもに分けて考える 市外者 → 観光客に歴史や文化が学べる施設を見てもらう / 祭りの屋台で茅ヶ崎市の食べ物を使う / ロケで茅ヶ崎をよりよく知ってもらう(観光客が聖地巡礼として訪れるかもしれない) 子ども → 稲刈り(田んぼ体験)やイモほりなど体験型 / NPOと協力 / 学童で広める。</p>

<p>(3) 私たちがシェアしたい、残していきたい、楽しみ続けたい「チガサキカルチャー」は何か。 私たちが考える「チガサキカルチャー」を提案。</p>	<p>祭り（浜降祭など） / 祭りは私たちがシェアし、楽しみ続けたい「チガサキカルチャー」 / 地域性があることも「チガサキカルチャー」 / 神社による特性が分かるとより楽しめる / 北口にも盛り上がるポイントが多数存在 / 神輿などで子どものことから祭りに触れる / 子ども神輿 / できれば小さい頃から体験してほしい / 海で神輿が並んでいる景色は壮観 / それを活用して観光客の方にも伝える / 神輿は通りによって盛り上がるポイントが存在 / 盛り上がるポイントがわかるマップを作製 / 地元の人にも観光客にも伝わりやすくする</p> <p>屋台で地元の食材を使う / 場所により特徴が異なるのでマップの作製 → 観光客に伝わる / 地元の人以外にも伝えていきたい</p> <p>食文化 / 現在は食について広めたいという活動があまりない / 何かのついでに宣伝 / 魚介系の料理やトルコ料理、ラーメン屋さんが多く存在 / 一日観光プランがあったら面白い</p> <p>文化を伝えるための実践例 / 子どもたちへのアプローチを工夫 / 子どもが文化に触れる機会を作る / NPO や学童と連携 / 幼稚園から伝え始め、将来的に学びを深める / ロケ（映画やドラマ撮影）の活用 / 茅ヶ崎を知ってもらう / 観光地や市役所を知ってもらうことによって「聖地巡礼」 / 旅行者の人たちに歴史や文化に関する施設を見ってもらう</p>
---	---

<執筆・編集>

柴田春菜、杉浦弘子、新井里奈、加藤潤、黒岩英美花、竹市光、棟長峻平、山田修嗣

4 市民討議会を振り返って

文教大学 学生スタッフ

1) 感想

- 思っていたよりもすごく楽しかったです。参加した市民の方たちも積極的に話し合いをしていて、自治体も市民も町のために頑張っているのだというのを感じることができました。
- とても面白いものであったなと思いました。今回書記だったので討議はしてないのですが、市民の方々の話を聞いていると色々な話題が聞くことが出来て良かったです。
- 良いまちづくりのため実際に市役所へ訪れ、同じ市民と討議をしようという方たちが多くいることに驚きました。今回参加されていた方々からは自分が茅ヶ崎を良くするぞという気持ちや市への愛着がよく伝わり、沢山発言があったことを素直に嬉しく思いました。
- 実際に市民の人が参加して市について考えるような場所に初めて参加したので新鮮で勉強になりました。年齢関係なく話せる環境でもあったので、それは良かったです。
- 様々な人がいる中で「茅ヶ崎」について話し合いを進めていくのは面白いと感じました。自分が当たり前だと思っていたことが案外素晴らしいものだと気づかされたり、若い人ならではの発想があったりと、非常に興味深い話し合いをされていて、皆さん共通して茅ヶ崎を思う気持ちが強いことを感じさせられました。
- 討議会を通して市民の方の茅ヶ崎市への愛を強く感じました。自分の住んでいる街に誇りを持ち、より多くの人に魅力を伝えたいという想いが感じられました。市民の方のこのような思いがあるからこそ討議会が成り立っていると感じました。
- 討議会に参加している一般の人は、幅広い年齢層であった。それぞれの層で意見が違ったりして、多くの意見が出ており、とても良いと感じた。機会があったら、また参加したい。
- 討議会に参加してみて、私が思ったより市民の方々の茅ヶ崎に対する思いが感じられました。その思いはただ暮らしやすい街づくりを考えるのだけではなく本当に茅ヶ崎を良くするために沢山の意見が出たことから茅ヶ崎の事を好きなのだと感じました。
- 若い世代の方々の参加が多く、彼らの積極的な発言が見られてフレッシュさや活気のある討議会になったと思います。また、最後には市民討議会というものに興味を持ってきて、運営に携わってみたいという市民の方々も何人かいたことがとても嬉しかったです。
- 市民の方々の暮らしや、まちを良くするための策や案を生々の声で聞くことができ、住んでいる方々だから分かる街のこと、まちづくりを発展させていくために、討議会に参加した1人1人の市民の熱い思いを感じることができ、貴重な体験でした。
- 意欲を持って参加してくれる市民がいて、素晴らしいと感じました。参加者の方々はそれぞれ考えて参加をし、持論を語り合っていて、同じ市民として皆様を誇りのように思えました。
- 立場や年代の異なる市民が自由に意見交換を行うことによって新たな視点やアイデアが生まれており、自分自身も市民として参加してみたいと思える会議だった。
- 市民の方々の生の声を聞くことができたため、行政の市民との接し方など様々な問題

点や良い点が数多く見つかった。

- ・茅ヶ崎市がより良くなるための活動に参加することができ、嬉しく思います。今回、自分たちがお手伝いさせていただいたことをもとに、茅ヶ崎市がより良くなっていくことを願っています。
- ・討議会を通じて、茅ヶ崎らしさ・茅ヶ崎の魅力について多くの意見を聞く事が出来、とても勉強になりました。市民の方々が日々感じている考え等を引き出す事が出来る討議会の場が更に増えて欲しいと改めて感じました。
- ・討議会を通して、茅ヶ崎市に住んでいる方々の声を聞くことができ、貴重な経験となった。討議会で多くの市民の方々が積極的に意見していたことから、自分の住んでいる地域を愛しており、これからも茅ヶ崎市が良い街となることを願っていることが伝わってきた。
- ・茅ヶ崎市の特色や茅ヶ崎市のこれからについて、茅ヶ崎市民の方がとてもよく考えているのだなということに驚きました。これからは自分も住んでいる地域についてもっと関心を持とうと思いました。
- ・市民の方から多くの意見が出て、話が進んだ印象でした。特に良かったのは年配の意見と若い人の意見、違う意見が出てどちらも取り入れられる内容であったのが良かったと思いました。
- ・老若男女関係なく、多くの方が参加していることに驚かされ、市民の皆さんが茅ヶ崎をどれだけ愛しているかということがよく分かりました。また、このような場が設けられることにより、市の魅力をより実感でき、更に地元への愛を深めることができるのだなと思いました。
- ・茅ヶ崎市民は茅ヶ崎市への思いが強いなと思いました。一人一人がたくさん意見を出していて、愛が強いなと思いました。また、みんなで街を良くしようと考えているのだなと強く感じることができました。
- ・参加者の幅が広く、自分と同年代の方も積極的に参加している場面が印象的でした。長年住んでいる方の話は、私の地元でも聞く機会があまりないので新鮮で聞き入っていました。市民の皆さんが着眼点や異なる切り口から意見を述べられていましたが、地元に対する愛情や海というアイデンティティを感じられ有意義な時間であったと感じています。

2) 改善点

- ・私のグループは3人しかいなかったもので、他のグループから1人来てもらいました。参加予定者数で班を構成したと思いますが、来ない人もいました。討議会は市民の参加があつてこそなので、日程が近くなったら改めてお知らせするなど対策が必要だと思います。
- ・欠席者がいて、班構成が変わってしまった点が印象に残りました。主催者として、重要な話し合いの場という認識を伝えきれているか気になりました。
- ・市民に対して送られる招待状や資料、また会議時の情報提供が市民にとって分かりやすいものかどうかを再考する必要があると感じた。
- ・参加者が話し合いに慣れるまでの進行の方法を検討し、たくさん意見を出してもらえるように工夫すべきだと思います。

- ・市民の方は、最初はどのように発言すればいいか、またどんな意見を言えばいいのかわからないと思うので、もっと発言の例などを用意した用紙を作っておいた方がいいのではないかと思います。
- ・自己紹介の時間がもう少しあった方が、議論が進むのではないかと感じました。議論を通じてお互いを知る事が出来ていた後半の方が、話が盛り上がりました。
- ・自己紹介に興味のあること、ハマっていること等がその後の話し合いに活かされていたので自己紹介に興味のあること等をしっかりと話し、聞くことが重要であると感じました。
- ・話を深めるためにも、アイスブレイクを多く行えば良いと考えました。そうすれば休憩時間での市民のみなさんのコミュニケーションがより活発になると思います。
- ・各討議のまとめの時間が少なくなっていました。全体の進行も考慮しつつ、柔軟に対応できる時間設定も大切かと思っています。
- ・グループ発表に向けての時間がもう少し必要であると感じました。考えがまとまっていない状態で発表していたグループもあったので、そこを改善するべきだと思いました。
- ・意見を出し合ってから発表者の方が発表するまでの間に、意見をまとめる時間が短かったように感じたので、そのような時間が欲しいと思いました。
- ・グループワークの際に、時間配分が上手くいかずに、慌てて付箋の仕分けをしてしまった。時間内で意見交換が終わるように配慮すべきであった。
- ・市民同士でコミュニケーションできる討議の時間と、休憩時間をもう少し伸ばしたほうが良いと感じました。雑談の中からアイデアも生まれると考えれば、自由討議と市民同士が気軽に話せる休憩時間も重要だと感じました。
- ・討議ごとのまとめにはいる際に、書記が作業をしましたが、それを市民の方にやっていただく方が、論点を整理できて話がまとめやすいのではないかと感じました。
- ・議題からずれて話が盛り上がってしまう時、また1人が集中して意見を述べる時のコントロールが必要だと思いました。司会者だけでなく、書記にも出来ることがあれば力になりたいと感じました。
- ・議論のときに使っていたテーブルが、もうちょっと大きいものが良かったなと思います。大きいテーブルを使って、椅子の間隔を少し開けられると、快適に議論ができるのではないかと思います。
- ・スタッフ席の配置を考えておくべきだと思いました。書記メンバーは1か所にまとまるようにすれば、無駄になる付箋を減らすことができると感じます。
- ・書記として参加する学生に対して、事前説明として、討議会の形式で討議し、書記、進行、話し手をローテーションするなどして経験させておいたほうが、学生の不安もなく当日もスムーズかと感じます。
- ・もっと細かく会話の内容を書くべきだったなと感じました。
- ・模造紙の配置も検討してはどうかと思いました。たとえば、ホワイトボードに模造紙を貼り、書記が付箋を貼っていく方法もあります。議論を進めやすく、見やすいメモづくりについて、方法を検討してはどうかと感じました。

3) 期待

- ・市民の方の茅ヶ崎市への愛が感じられたので、さらに愛に溢れ、市外や県外、海外の

- 方など多くの人に茅ヶ崎市の魅力を伝え、市の活性化に繋がればいいなと思いました。
- ・参加して下さった市民の方々の茅ヶ崎愛が、物凄く印象に残りました。その為、やはりこの討議会で出た意見を今後茅ヶ崎の発展に積極的に活かして欲しいと思いました。
 - ・市民の方から頂いた意見を市役所の方がわかりやすくまとめて、茅ヶ崎市のカルチャーを残す、また広めていくために必要なことを今後の茅ヶ崎市の活動で行って欲しいと思います。
 - ・話し合ったことを中心に、茅ヶ崎がよりよくなると良いなと考えました。話し合いの結果、主に祭りのことが挙げられていたので祭りを盛り上げて観光に来る人たちが茅ヶ崎のことをより良く知ってもらうことを今後期待したいです。
 - ・今回の討議会で出た市民の意見を、しっかりと、行動に移してほしい。市民の方々の話を聞いている感じだと、とても住みやすいという意見が多かったように感じる。そのため、さらに住みやすい街を作り、茅ヶ崎市を発展させてほしい。
 - ・地域の施設を利用する取り組みは、ぜひ茅ヶ崎市で活用してもらいたいと思います。一つの案を作るという結果を残せたので、いい方に進展していくといいなと思えました。
 - ・たくさん意見が出た中で反映できるものを多く反映して欲しいと思いました。
 - ・それぞれの班の意見を聞いてみて、たくさん良い案が出ていました。このことをもっと広めて、もっとたくさんの方が参加して行くことで、良い街づくりが実現するのではないかなと思います。
 - ・数年後を見据えてのプロジェクトだとお伺いしましたが、その道筋が市民の皆さんに届けられ閲覧出来る機会があるといいなと思いました。
 - ・市民討議会の存在が知れ渡り、数多くの場所で行われるようになれば良いなと感じました。討議会は市民にとっても、市にとっても地元という存在を再確認するために重要な機会であると感じ、地元愛を一層深めることができると思いました。
 - ・茅ヶ崎の方々は茅ヶ崎市が好きであることが伝わってきたので、茅ヶ崎の市民の方々が、茅ヶ崎はとても素敵なところであると全国の方々に胸を張って自慢できるような狙いのある討議会ができればよいと考える。
 - ・市民討議会は、市民のみなさんが市をより良くするため話し合う機会ですが、市民間の交流を深めることもできる場としても、もっと茅ヶ崎市へ広まることを期待します。
 - ・市民がさらに活発に意見交換を行えるようになり、またその意見が具体的にどのような取り入れられたのかを実感できるようになること。また、討議会自体の知名度向上。
 - ・市民の生の声を行政が反映することを期待する。また、市民討議会自体がより広まることによって市民参加が進むことを期待する。
 - ・これから討議会が行われていけば、茅ヶ崎市は日本で1番魅力ある市になれるのかなと思います。
 - ・実際に市民の方の考えを生で聞くことができる機会はあまりないので、ますます、市民の方が意見を出しやすいような場になってほしいと思いました。
 - ・参加者の中に、今後もこういった活動に参加したいと考える人が数名いたため、市民と行政が関わる機会をもう少し設けると市に興味を持つ人も増えるように感じました。今回挙がった意見を市民の大切な意見として受け入れ、向き合っていたきたいと感

じました。

- 市民討議会に興味を持ってくれた市民の方々が、今後の運営に携わってくれること、市民討議会という市民主体のまちづくりの方法が、多くの市民に認知されること（参加者が身近な人々に口コミしてくれること）。
- 学生の頑張りが、大学のネームバリューとなって還元されることも期待します。地域活性化を掲げる民間企業も、何らかのかたちで参画できると、繋がりが構築されてきかけづくりになって良いなと感じました。
- 次も機会があれば沢山貢献していきたいと思っています。ありがとうございました。

5 アンケートの結果

(※自由記述については一部意見をまとめて集計している)

(1) 事前アンケート

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

【参加者の属性について】

設問 1, 職業 (○は1つ)		
①	農業・漁業	1
②	自営業・経営者	2
③	自由業	0
④	家事手伝い	0
⑤	公務員・団体職員	2
⑥	専門技術職	3
⑦	事務職	1
⑧	販売・サービス職	1
⑨	製造・労務職	1
⑩	パート・アルバイト	3
⑪	家事専業	2
⑫	学生	7
⑬	無職	1
⑭	その他	5

設問 2, 家族形態 (○は1つ)		
①	単身	4
②	(自身の)夫婦のみ	4
③	未婚の子どもと同居	9
④	既婚の子どもと同居	2
⑤	親世代と同居	9
⑥	三世代以上が同居	0
⑦	その他	1

設問 1, ⑭その他	
<input type="checkbox"/>	会社員
<input type="checkbox"/>	システムエンジニア
<input type="checkbox"/>	コンサルタント

設問 2, ⑦その他	
<input type="checkbox"/>	交際相手と同居

設問 3, 住居形態 (○は1つ)		
①	持ち家 (戸建)	17
②	借家 (戸建)	2
③	集合住宅 (分譲)	1
④	集合住宅 (賃貸)	9
⑤	公営住宅	0
⑥	社宅	0
⑦	その他	0

設問 4, 市内での居住年数(⑥については重複可)		
①	1年未満	1
②	1年～5年未満	6
③	5年～10年未満	3
④	10年～20年未満	4
⑤	20年以上	10
⑥	生まれてからずっと	8

設問 5, 茅ヶ崎での定住の意向 (○は1つ)		
①	住み続けたい	11
②	できれば住み続けたい	7
③	できれば転出したい	1
④	転出したい	0

設問 6, 平日の平均在宅時間(睡眠時間を除く) (○は1つ)		
①	2時間未満	0
②	2～4時間未満	6
③	4～7時間未満	10

⑤	わからない	10
⑥	その他	0

④	7～12 時間未満	7
⑤	12 時間以上	6
⑥	その他	0

【参加の動機について】

設問 7, 市民討議会の手紙(参加依頼)が届いて、どのように感じましたか (いくつでも○)		
①	面白そう	18
②	良い取組	6
③	新しい取組への期待	6
④	選ばれてよかった	3
⑤	なぜ討議をするのか不明	3
⑥	実際に何をするか不安	3
⑦	つまらなそう	0
⑧	とくに感想はなかった	2
⑨	その他	1

設問 8, なぜ討議会への参加を決意しましたか (いくつでも○)		
①	市民討議会が興味深かった	16
②	テーマが興味深かった	8
③	日程的に都合がよかった	5
④	市のために協力したかった	4
⑤	市民の役割として大切だと思ったから	3
⑥	新しいことにチャレンジしたかった	10
⑦	市から手紙が届き参加しなければならなかったと思った	1
⑧	日頃から市に言いたいことがあった	0
⑨	その他	0

設問 9, 謝礼の必要性について、どのようにお考えですか (○は1つ)		
①	必要だと思った(参加はするが 必要と感じた)	5
②	不要だと思った	18
③	その他	6

設問 9-1, 【設問 9】で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか (○は1つ)		
ア	謝礼 1000 円	3
イ	謝礼 3000 円	0
ウ	謝礼 5000 円	1
エ	謝礼 10000 円	0
オ	謝礼品 1000 円程度	2
カ	謝礼品 3000 円程度	0
キ	謝礼品 5000 円程度	0
ク	謝礼品 10000 円程度	1

設問 9, ③その他	
<input type="radio"/> 謝礼にこだわりを感じない。どちらでも構わない。 <input type="radio"/> 内容によっては必要かもしれません <input type="radio"/> 考えてなかった <input type="radio"/> 参加してみないと分からない	

設問 10, 茅ヶ崎市が設置している次の公共施設等のうち、利用したことがあるものを選択してください。(いくつでも○)		
①	市民文化会館	21
②	美術館	13
③	茶室・書院 (松籟庵)	1

④	茅ヶ崎ゆかりの人物館	1
⑤	開高健記念館	3
⑥	博物館	1
⑦	旧南湖院第一病舎	0
⑧	氷室椿庭園	5
⑨	民俗資料館（旧藤間家住宅）	1
⑩	ハマミーナまなびプラザ	5
⑪	市民ギャラリー	4
⑫	図書館	18
⑬	公民館	9
⑭	青少年会館	4
⑮	茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラス	6
⑯	どこも利用したことがない（16を選択の場合、その理由をア～エのいずれかを選択）	4

設問 10, どこも利用したことがない理由		
ア	設置していることを知らなかった	2
イ	設置していることは知っていたが、必要がなかった	2
ウ	利用したいが機能が不十分で使えなかった	0
エ	その他	0

(2) 事後アンケート

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

設問 1, 今回の市民討議会について感想や印象をお聞かせください (○は1つ)		1	2	3	4	5
		そう思う	どちらかと思えばそう思う	ない どちらとも言えない	どちらかと思えばそう思わない	そう思わない
A	市民討議会はおもしろかったですか	21	3	2	1	0
B	討議会の進め方はわかりやすかったですか	10	11	1	4	1
C	進め方に関する説明は十分だと思いましたか	10	8	6	3	0
D	冒頭の自己紹介で話しやすくなりましたか	15	10	2	0	0
E	各回の情報提供で、討議がおこないやすくなりましたか	10	9	6	1	1
F	討議1のテーマは、話しやすかったですか	10	13	3	0	1
G	討議2のテーマは、話しやすかったですか	5	12	5	2	2
H	討議を通して自分の考えが深まりましたか	15	9	2	0	1
I	グループ発表は、全員の意見が十分反映されていまいましたか	13	10	3	1	0
J	各班の討議報告で、他の参加者の意見がわかりましたか	20	6	1	0	0
K	市民討議会は市民の声を反映させるのに有効な手法と感じましたか	11	11	5	0	0
L	討議に参加して、市民が「まちづくりの主役」という印象が強まりましたか	11	10	3	2	0

設問 2, グループごとの話し合いは、円滑に進みましたか (○は1つ)		
①	円滑に進んだ	13
②	やや円滑に進んだ	10
③	どちらとも言えない	3
④	やや行き詰まったときがあった	1
⑤	何度も行き詰まった	0
⑥	その他	0

→どのようにすれば、より活発な討議が出来ると思いますか。下欄にお書きください。

○発言数が多く、まとめる時間が足りないと感じた。
○いきなり本題に入って、策を出すのではなく、問題点を見つけることから始めるなど段階的に考える。
○ファシリテーターの方の能力によると思いました。大変有能な方でした。
○もう少し討議の内容をしぼった方が良かったと思いました。
○1つの意見に対してもっとじっくり話したい。時間はちょうど良かった。
○グループ分けをあえて同年代にする方が、盛り上がると思いました。
○資料、説明がお役所的でわかりにくい。もっと平易な表現を使って欲しい。

- 課題がはっきりとあるけれども、それがオープンにしてはいけない？（フィルターがかかるから？）と感じて、テーマに沿った討議がおこなえたか不安でした。議題（趣旨）がわかりやすい方が、個人的には進めやすかった。
- テーマをわかりやすいものにする。
- 考える時間をつくる。
- 討議の進め方について技術的な手助けが欲しかった。
- 事前に話しやすいテーマについてアンケートし、それを元に司会が話をふる。
- 年代別グループの方が良いと思った（意見がまとまりやすい）
- ファシリテーターがキーポイントだと思う。
- テーマを具体的にした方が話しやすい。
- 大学生の方とも意見交換できると活発になると思いました。内側 4 人のみで話すのは少し緊張しました。
- より具体例があった方が良かった。
- 討議内容の目的・ゴール・達成条件を実行委員の中で明確にしておくことで、より円滑な討議ができると思料。
- あまり意見を発言できていない方がいたので、その方に話を振れるようにする。

設問 3, 討議の際、平均して何回くらいお話されましたか（○は1つ）		
①	10 回以上	6
②	7～9 回	5
③	4～6 回	8
④	1～3 回	7
⑤	0 回	0
⑥	わからない	1

設問 4, 市民討議会ではじめて顔を合わせる他の市民との会話について、どのように感じましたか（いくつでも○）		
①	さまざまな考え（発想）が聞ける楽しさ	19
②	さまざまな世代の意見が聞ける楽しさ	22
③	同じ茅ヶ崎市民としての共感や連帯感	14
④	はじめて会う人との会話における抵抗感	0
⑤	意見を言うのになれておらず、話しにくい感じ	0
⑥	その他	0

設問 5, 今後、同様に市民討議会の案内が届いた場合、何を条件に参加を決めますか（いくつでも○）		
①	日程	15
②	内容・テーマ	18
③	謝礼の有無と金額	0
④	案内があればぜひ参加したい	14
⑤	条件を問わず参加しない	2
⑥	その他	0

設問 6, 開催時間についてどのくらいの所要時間が望ましいと思いますか (○は1つ)		
①	1 時間程度	0
②	2 時間程度	6
③	3 時間程度 (今回同様)	19
④	4 時間程度	2
⑤	5 時間程度	0
⑥	その他	0

設問 7, 市民討議会に参加して、謝礼の必要性について、どのように思いましたか (○は1つ)		
①	必要 (Q7-1 へ)	9
②	不必要	18

設問 7-1, Q7 で「1. 必要」と選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか (○は1つ)		
ア	謝礼 1000 円	1
イ	謝礼 3000 円	1
ウ	謝礼 5000 円	1
エ	謝礼 10000 円	0
オ	謝礼品 1000 円程度	5
カ	謝礼品 3000 円程度	0
キ	謝礼品 5000 円程度	0
ク	謝礼品 10000 円程度	0

設問 8, どのようなことがあれば自分が文化芸術の鑑賞により関心を持てると思いますか (いくつでも○)					
①	近所でたくさん催しがある	15	⑦	小さな子どもを連れて行ける施設や行事が充実する	6
②	夜間にたくさん催しがある	4	⑧	バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている施設や行事が充実する	5
③	情報が入手しやすい	21	⑨	茅ヶ崎のアーティストや作品、文化イベントが全国的、世界的に有名になる	12
④	家族や友人等に誘われる機会が増える	11			
⑤	今より経済的な余裕ができる	7	⑩	関心がない・分からない	0
⑥	今より時間的な余裕ができる	7	⑪	その他	0

設問 9, どうすれば鑑賞以外の創作、出演など活動に参加しやすくなると思いますか (いくつでも○)		
①	住まいや職場の近くで活動に参加できる	12
②	活動に参加するための費用の負担が軽い	7
③	活動のための時間が取れる	9
④	土日祝日や夜間などにも活動が行われる	10
⑤	魅力ある内容の活動が行われる	17
⑥	初心者向けの活動が提供される	12
⑦	参加する機会や活動の成果を発表する機会が多く提供されるようになる	5
⑧	情報が入手しやすい	14
⑨	一緒に活動する仲間ができる	12
⑩	年齢や障がいの有無にかかわらず、参加しやすい施設整備や対応サービスが導入される	4
⑪	小さな子どもを連れて行ける対応サービスが充実する	3
⑫	関心がない・分からない	0
⑬	その他	0

設問 10, どのようにしたら、茅ヶ崎の歴史を広めることができると思いますか (いくつでも○)		
①	公共施設で開催する市史講座での啓発	9
②	広報紙での周知	11
③	出前講座等の実施	6
④	公共施設等での関係チラシの配布	11
⑤	資料等の展示事業	4
⑥	その他	6

設問 10, ⑥その他		
○小・中学校での学習に取り込む		
○博物館の活用		
○SNS (Youtube, X, Facebook) での発信		
○茅ヶ崎市のホームページ		
○イベントと連動させる		
○駅に広告を掲示する。ネットでの掲載順位をコストをかけて上げる。		

設問 11, 茅ヶ崎で今より学びやすくなるためには、今後どのような取り組みがあればいいと思いますか (いくつでも○)		
①	講座、講演会などの充実	16
②	施設 (学習できる場・交流できる場) の充実	16
③	学びたい人の交流の場の充実	13
④	会場の確保や広報等による市の活動支援	13
⑤	学習の成果を評価する取組 (修了証の交付や単位の認定)	7
⑥	学んだことを生かせる場の提供 (講座の講師・ボランティア活動等)	12
⑦	学習成果を活用した活動事例の紹介	4

⑧	その他	0
---	-----	---

設問 12, 前問で学んだ知識や技術をどのように生かしたいですか (いくつでも○)		
①	自分の人生を豊かにするため	26
②	仕事や就職の上で生かすため	5
③	家庭や日常の生活に生かすため	8
④	健康の維持・増進に役立てるため	8
⑤	地域や社会での活動に生かすため	14
⑥	生かしたいと思わない	0
⑦	学習したいと思わない	0
⑧	その他	0

設問 13, 茅ヶ崎の文化や学びに関する環境を充実させるために、何が重要だと思いますか (いくつでも○)		
①	劇場、美術館、博物館、生涯学習施設などの施設の充実	20
②	創作活動ができる施設や情報の充実	9
③	公演、展覧会、芸術祭などの発表の機会の充実	9
④	芸術家、学びの講師、文化・生涯学習団体の活動の支援	12
⑤	著名な芸術家の招へい	6
⑥	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	9
⑦	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくり	5
⑧	子どもが文化芸術や様々な学びに触れる機会の充実	10
⑨	地域の芸術家の作品の積極的な活用	5
⑩	地域の芸術家と接する機会の充実	4
⑪	工芸、ファッション、メディアなど文化芸術に関連する産業の振興	10
⑫	特にない・分からない	0
⑬	その他	0

設問 13, 茅ヶ崎で今より学びやすくなるためには、今後どのような取り組みがあればいいと思いますか。 (いくつでも○)	
○人の集まる拠点の充実化	

(3)不参加者アンケート 集計(有効回答数360)

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

設問 1, 年代 (○は1つ)		
①	20歳代以下	61
②	30歳代	58
③	40歳代	73
④	50歳代	61
⑤	60歳代	41
⑥	70歳代	39
⑦	80歳代	25

設問 2, 性別 (○は1つ)		
①	男性	136
②	女性	216
③	その他	0
④	回答しない	6

設問 3, 市民討議会について、知っていましたか (○は1つ)		
①	よく知っている	3
②	少し知っている	19
③	言葉を聞いたことがあった	65
④	初めて知った	273

設問 4, 市民討議会の案内が届いたとき、どのように感じましたか (○は1つ)		
①	面白そうに思った	89
②	不思議に思った	149
③	分からない	111
④	その他	30

設問 4, ④その他		
○なぜ自分に来たのか困った		
○趣旨は理解しましたが、自分自身の中に課題が見つからない		
○自治会、町内会レベルの話は議題が足りないのか		
○参加して実際何か変化(市が)することがあるのかギモンに思った。		
○何の案内かと不安に感じた		
○なぜ我家に届いたのかしらと思いました		
○初対面の人が苦手なので無理だと思った		
○何がおもしろかった? 83.3%人たち		
○何故自分に...? 一読して分かりました		
○その存在を知らなかった		
○健全な自治体で良いと思いました		
○問題に興味なし		
○参加したいと思った		
○若ければ参加したいと思った。		
○情報不足と思った。		
○自分が役立つか不安でなかなか決められなかった		
○読んだけど大変だと思った		
○主旨から無作為抽出には馴染まないと思います		
○突然案内が届いたので驚いた		
○こういう事をやっているんだと思った		

- 意味がありますか？
- 面倒くさく感じた

設問 5, スケジュールについて (いくつでも
○)

①	3時間では長時間に感じる	104
②	3時間を費やすことはできない	70
③	土・日曜日は都合が合わない	93
④	今回は都合が合わない	174
⑤	その他	33

設問 5, ⑤その他

- 自分より知識のある方が良いのではと思い
- 市民討議会そのものの内容がわからない
- 障害者なので参加できない
- 過去に討議会が行われてましたら、内容結果等何らかの方法で提示してください
- 日曜日は多分大丈夫です
- コロナ下の3年間で難聴がすごく進行したため
- 口頭で話すのが苦手なので
- 特になし参加する
- 日時が先なので予定がわからない
- 旅行予定日と重なった為
- 途中休憩があれば3時間ぐらいがよい
- 参加する気はない
- 腰が痛く長時間同じ姿勢でいられないんです。
- シフト制のため、合わせられない
- 市民討議会でなく、市議会なら傍聴してみたい
- 時間帯が午前中の方が良い、3ヶ月位前には知りたかった
- 地方に長期出張のため欠席
- 平日休みです (水曜日)
- 高齢のため一人で移動できない
- 内容によるので現在、回答できない
- 初めて知って80歳過ぎて今から参加しても実行できそうにない
- 体調が優れないので
- 出産を控えているため
- 体が不自由で参加できない
- 参加しないのでなんとも言えない

設問 6, 今回参加されなかった理由は何ですか
(いくつでも○)

①	日程が合わなかったから	212
---	-------------	-----

②	興味の無いテーマだったから	67
③	行政の事業には興味がないから	22
④	面倒だから	64
⑤	謝礼がないから	29
⑥	その他	83

設問 6, ⑥その他

- 自分より知識のある方が良いのではと思い
- 障害者なので参加できない
- 過去に討議会が行われてましたら、内容結果等何らかの方法で提示してください
- 86才、体力なく出席は無理
- 病気の為、参加できません
- 話し合いをしたり、意見を言ってもどうせ意味がないから。それと駅の方まで行かないと、BKはないし、スーパーもない。まちづくりとあるけど人口増やすことが全てではないと思う。マンションばかりで娯楽もないキレイにするのは？だけ、年寄若者ともうまく使えるようにしてほしい全てを
- 法事予定
- 旅行に行く予定ある為
- 子供が居るため
- 意見を述べたりするのは苦手なので
- 引越したので、ごめんなさい
- コロナ下の3年間で難聴がすごく進行したため
- 自営の為に休みがない
- 病気治療のため参加できません
- 青年会議所が何故一緒なのか？
- 知らない人とよくわからない内容のことについて話せないから
- 教員（中学校）です。仕事のため参加できません。
- 出張が多く休日はゆっくりとしたい
- 口頭で話すのが苦手なので
- 地域の盆踊りのお手伝いなので
- 人前で喋るのが苦手なので
- 高齢のため長時間は心配(体力的に)腰痛がある
- 茅ヶ崎市に引越してまだなじみがない為
- 自分に推せるほどの趣味やサークル活動が1つもなかった。
- 病気療養中だから
- テーマに対していい意見が出せそうにないから
- 高齢なので外出困難（両、杖）
- 初対面の人が苦手だから
- 幼い子どもの世話をしているため3時間でも家をあけることが難しい為
- 子供を預けることが困難のため、長時間は無理
- 家を空けることを出来ない

- 腰が痛く長時間同じ姿勢でいられないんです
- 人づきあいが苦手なため
- 仕事等で多忙
- 問題点は直接市担当者に言った方が効果的である
- 基本的な情報がわからないから
- 主人は、土日仕事のため、子供を留守番させてまではいかない
- 討議がなにをするのかわからない
- 皆の前で意見を言うのが苦手だから
- 内容が良くわからない
- 時間を取りにくい
- 自分自身に積極性がありません
- 子育て支援など優先度の高い社会的な課題ではなく、優先度の低いテーマを議論することに意義を感じなかったため
- 参加しない理由ではないがテーマ・内容がいまひとつわからない
- 1～5月頃開催なら良いが
- 地方に長期出張のため欠席
- 健康面に不安があり、日常生活以上の無理ができないため
- 高齢のため
- 興味がないわけではないが杖をついて歩くのが精いっぱいのため
- 「討議会」というのに気おくれする気持ちがある
- 入院中のため退院しても自宅療養が必要だから
- お盆時期のため
- 時間が長い
- 月齢の低い子どもがいるから
- 出産を控えているため
- 今年は薬学部の5年生であり薬局での研修が8月21日から開始するため準備で忙しかった
- 人前で話すのは苦手
- 未就学児2人の育児中のため
- 託児（0歳児）がないため
- 仕事の予定がはっきりしない為
- 7月下旬に引っ越す予定であり、茅ヶ崎にいないから
- 自分も行政職員のため、参加するのに抵抗があります
- 平日仕事、休日に3時間検討会では身体が休まらない為
- ディスカッションが苦手
- 子連れでは難しい
- 0歳児がいるため（託児が2歳からとなっている）
- 子ども産まれたばかりだから
- 子どもも一緒に参加できると参加しやすい。
- アイデアが浮かばないので議論に貢献できないため
- 無駄なことをしてないで どうすれば市民税など下げられるか考えて
- 語り合いは好きじゃないから。

設問 7, 次回、このようなイベントの案内が届いたら、どうしますか (○は1つ)		
①	日程が合えば、参加する	67
②	興味のあるテーマならば参加する	109
③	謝礼等があれば参加する	39
④	できれば参加したくない	86
⑤	その他	33

設問 7 で③謝礼等があれば参加するを選択をした方の望ましい謝礼等 (○は1つ)		
ア	謝 礼 1,000 円	1
イ	謝 礼 3,000 円	12
ウ	謝 礼 5,000 円	12
エ	謝 礼 10,000 円	9
オ	謝礼品 1,000 円程度	1
カ	謝礼品 3,000 円程度	2
キ	謝礼品 5,000 円程度	3
ク	謝礼品 10,000 円程度	1

設問 7, ⑤その他

- 障害者なので参加できない
- 86 才、体力なく出席は無理
- 病気の為、参加できません
- 3 の謝礼は茅ヶ崎市の財政を考えると、謝礼がなくとも茅ヶ崎市が好きなことだけで動ける市民参加が望ましいと考える。謝礼なんていらぬよ。40 名なんて有志がすぐ集まるはず
- 子育てで時間の余裕がない
- 謝礼品必要ナシ
- コロナ下の 3 年間で難聴がすごく進行したため
- 休みが取れないので、参加できないと思う。
- 病気治療のため参加できません
- 興味はありますが、何しろ体力に自信がありません
- 口頭で話すのが苦手なので
- 参加は無理です。
- 高齢のため (89 歳) 無理です
- テーマによっては参加したい
- 参加したくとも上記の通り
- 人前で自分の考えを言うことに苦手意識があるので、すみません
- 託児サービスの対象年齢になったら
- 参加しない
- 近所の人で興味ある方に案内状を譲る
- 分からない
- 書面での参加なら可能
- 時間のゆとりがあれば参加を考えてみたい
- これからの茅ヶ崎のことはいろいろ考えたいと思っています。
- 年齢的に参加に消極的です
- 1 人で行動無理です

- 子ども OK なら
- 今回の経験を経て決める。どのようなものなのか今わからないから。
- 今さら勉強してもおそい、見る読むくらいなら良い
- 多分前向きに検討しないと思う
- 体力に自信ないので不参加する
- 興味はあるが案内が突然すぎる。予定調整が難しい。
- 託児サービスが充実していれば参加したい
- 参加しません
- 討議会の結果がどのように生かされるのか、どの程度のウェイトのあるものなのかが事前にわかるとよい。

設問 8, どのようなことがあれば自分が文化芸術の鑑賞により関心を持てると思えますか。
(いくつでも○)

①	近所でたくさん催しがある	102
②	夜間にたくさん催しがある	20
③	情報が入手しやすい	135
④	家族や友人等に誘われる機会が増える	43
⑤	今より経済的な余裕ができる	86
⑥	今より時間的な余裕ができる	111
⑦	小さな子どもを連れて行ける施設や行事が充実する	70
⑧	バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている施設や行事が充実する	42
⑨	茅ヶ崎のアーティストや作品、文化イベントが全国的、世界的に有名になる	73
⑩	関心がない・分からない	37
⑪	その他	14

設問 8, ⑪その他

- 何言ってるか不明、項目多すぎ
- 質の高い文化・芸術にふれあえる
- 自分自身が見つけた関心事に集中したく時間がない
- 精神的、肉体的な余裕が必要かと。茅ヶ崎での月ごとの催しの告知する方法に駅などの人が集まる場所を使うなど
- 今は生活のために働く方が大事で時間が無い
- ペットと一緒にいける
- 休日が増えたら
- 興味のあるテーマ
- 知人の誘いがあれば行きやすい
- 知っている人がすると鑑賞したくなる
- 安心、安全な環境
- 設問が抽象的で範囲広すぎ
- 平日の休憩時間を狙ったミニ催しなどが駅前であれば、働いている人も参加しやすいです
- 既に芸術鑑賞している

- 浜降祭等、神輿関係者であるが上下関係、参加しにくい、などあるため参加しない人が多い
- 好きな分野だったら

設問 9, どうすれば鑑賞以外の創作、出演など活動に参加しやすくなると思いますか。
(いくつでも○)

①	住まいや職場の近くで活動に参加できる	96
②	活動に参加するための費用の負担が軽い	90
③	活動のための時間が取れる	93
④	土日祝日や夜間などにも活動が行われる	41
⑤	魅力ある内容の活動が行われる	146
⑥	初心者向けの活動が提供される	100
⑦	参加する機会や活動の成果を発表する機会が多く提供されるようになる	29
⑧	情報が入手しやすい	102
⑨	一緒に活動する仲間ができる	72
⑩	年齢や障がいの有無にかかわらず、参加しやすい施設整備や対応サービスが導入される	53
⑪	小さな子どもを連れて行ける対応サービスが充実する	59
⑫	関心がない・分からない	33
⑬	その他	11

設問 9, ⑬その他

- 何言ってるか不明、項目多すぎ
- 藤沢市展にある公募・賞をもらえることがはげみになる
- 精神的、肉体的な余裕が必要かと。茅ヶ崎での月ごとの催しの告知する方法に駅などの人が集まる場所を使うなど
- 今は生活のために働く方が大事で時間が無い
- 大衆的な文化以外のマイナーな創作を共有する場が与えられる
- オンラインの活用
- 参加のワクがたくさんあれば
- アプリでコース作る
- 自分の今までの経験が活かせるかどうかわかれば
- コミュニティの活性化
- 一人でも参加しやすい環境づくり、また参加しやすい雰囲気であることのアピール
- 創作、出演などの活動とはたとえばなんですか
- 生涯学習ガイドブックを置いておいて、少しでもやる気のある人に情報が行き届くようにすると良いかなと思いました

設問 10, どのようにしたら、茅ヶ崎の歴史を広めることができると思いますか。
(いくつでも○)

①	公共施設で開催する市史講座での啓発	76	④	公共施設等での関係チラシの配布	75
---	-------------------	----	---	-----------------	----

②	広報紙での周知	167	⑤	資料等の展示事業	85
③	出前講座等の実施	51	⑥	その他	68

設問 10, ⑥その他

- SNSの活用 14人
- インターネット配信の活用 (Youtube 等) 9人
- テレビの活用 6人
- わからない 2人
- 学校や幼稚園等、学べる所
- 小中学校での教育
- 学校等で生徒や親をつれて行くような日を作る等
- お子様たちをメインに学習の機会を増やせると良い
- メディアへの露出、無理に歴史を広めなくても新しい文化・芸術を創っていくことも良いと思う
- 市のHPに歴史資料などを確認できるようにリンクを張る。そしてその周知
- そもそも広める理由が不明
- どの分野の歴史かによって、展示する場と時期が変わると思います。
- そのすべてだと思いますが、個人の積極性が先ず
- 今は生活のために働く方が大事で時間が無い
- 子供の頃から授業などで触れておく。民話などのものがたりでかたくるしくない形で
- 茅ヶ崎出身の有名人芸能人にイベントに来てもらう
- イベント等を通じて楽しく
- イベント行事等でのトークショー
- 冬季にも大きいイベント(花火大会など)を開き情報を周知する。
- オンラインの活用
- むずかしいが、単に印刷物を配布してもみない人が多いのでは
- 老人でも気楽に参加できる事が近くであると良い
- 人が集まる場所等で周知など
- そもそも茅ヶ崎の歴史を知りたい人がどれくらいいて、どれくらいのニーズがあるのか理解すること
- アプリ活用
- あせらず、他のところを参考にして、地道につづけること
- 病院の待ち時間、スーパー、商業施設のチラシ、展示
- イオンなど、老若男女の人が利用する場所で情報を発信するとか?
- 長く住もうと思ったら、その街に対してより深く知ろうと思うと思う。子供が生まれ、家を買う際にその町や歴史を知りたいと思う
- 興味を持って貰える内容作り
- 私たちの茅ヶ崎の内容充実
- 歴史を広める必要性がない
- 公共施設に歴史の資料を見やすく展示する。アトラクション方式で歴史を知ってもらう。
- 映画作成

○フリーペーパーなどへの掲載

設問 11, 茅ヶ崎で今より学びやすくなるためには、今後どのような取り組みがあればいいと思いますか。(いくつでも○)

①	講座、講演会などの充実	113
②	施設（学習できる場・交流できる場）の充実	161
③	学びたい人の交流の場の充実	121
④	会場の確保や広報等による市の活動支援	87
⑤	学習の成果を評価する取組（修了証の交付や単位の認定）	35
⑥	学んだことを生かせる場の提供（講座の講師・ボランティア活動等）	72
⑦	学習成果を活用した活動事例の紹介	54
⑧	その他	17

設問 11, ⑧その他

- どの分野の歴史かによって、展示する場と時期が変わると思います
- 支援センターの時間を長くする。前地域では9-16:30までだった
- わからない
- 家事、育児、経済的サポートの充実
- 学習は講座・講演だけではないと思うが
- インターネットの活用、ユーチューブの活用
- 学ぶこと自体を目的とせず、何を目的に何を学ぶのか理解すること
- 今までの経験や活動で、できることをもっと大勢の人からアンケートをとる
- Web. オンライン
- リモートで講座や講演会に参加可能にする
- 出前講座を実施し、それをきっかけに育成された人をまた講師にしていくというサイクルが出来ると良いと感じます
- 生活や趣味に直結する内容の講座やパネル展示、SNSやYouTubeでの発信など
- 現実的に 税金 ゴミ費用など 生活がしやすくなれば心に余裕ができる
- 遊び形式で学習する。評価や生かせるだけでなく報酬も用意する

設問 12, 前問で学んだ知識や技術をどのように生かしたいですか (いくつでも○)

①	自分の人生を豊かにするため	230
②	仕事や就職の上で生かすため	67
③	家庭や日常の生活に生かすため	136
④	健康の維持・増進に役立てるため	97
⑤	地域や社会での活動に生かすため	75
⑥	生かしたいと思わない	10

⑦	学習したいと思わない	16
⑧	その他	7

設問 12, ⑧その他

- 気晴らし
- ボランティアも昨年で辞めました。自分のことでいっぱいになりました
- 東南アジア等アジア地域の若手交流を促進したい
- たとえ生きなくても即物的にみかえりがなくてもよいのでは
- 上記は若い人に聞いている感です。老人にも聞いてください
- 学習する内容による 2人

設問 13, 茅ヶ崎の文化や学びに関する環境を充実させるために、何が必要だと思いますか。(いくつでも○)

①	劇場、美術館、博物館、生涯学習施設などの施設の充実	148
②	創作活動ができる施設や情報の充実	83
③	公演、展覧会、芸術祭などの発表の機会の充実	61
④	芸術家、学びの講師、文化・生涯学習団体の活動の支援	52
⑤	著名な芸術家の招へい	39
⑥	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	87
⑦	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくり	77
⑧	子どもが文化芸術や様々な学びに触れる機会の充実	140
⑨	地域の芸術家の作品の積極的な活用	40
⑩	地域の芸術家と接する機会の充実	44
⑪	工芸、ファッション、メディアなど文化芸術に関連する産業の振興	71
⑫	特にない・分からない	28
⑬	その他	10

設問 13, ⑬その他

- 1~11は必要として、学びたいと思う人が増えることでしょうか
- 1の無料化デーを設ける
- 南側ばかり開発されていて不満。北側は特色がない
- 自主学習ができる場所がない
- オンラインを活用できる人材
- 文化会館など安く借りることが出来れば
- 市長がイベント参加だけでなく企画できるよう助成金等を充実して頂きたいです
- ごめんなさい。疲れているので以上にします
- ともかく焦らず、王道をやること。今やっていることを生かす
- コミュニティの活性化

- お金のかかることだと思います。無駄がないよう慎重にすすめてください
- 必要な人に情報行き届くためにも、まずは茅ヶ崎市の文化生涯学習の取り組みについて、市広報などで取り上げてみてもいいかと思います。また、生涯学習ガイドブックですが、せっかく情報がたくさん詰まっていますので、発行部数を増やしてもっとより多くの市民の目に触れるようにしてはいかがかなと思いました
- 茅ヶ崎は子供が多いから子供のイベントを充実させるべきだとおもう
- 行政は独りよがりの無駄なことをせず 本当に意味のあることを行なって欲しい

6 市民討議会講評

討議1は、「あなたにとって文化・生涯学習とは」について討論した。まずテーマをブレイクダウンして、「あなたが考える茅ヶ崎らしさや魅力」を発表する事から始めた。

茅ヶ崎らしさや茅ヶ崎の魅力としては、海が存在や子育てにすぐれた自然環境（自然資源）、加山雄三、サザンオールスターズなど音楽文化や食文化、浜降祭、隠れ家的な店の存在、花火大会（文化資源）などがあげられた。総じて、これらの地域資源は、コンパクトなまち、交通の利便性、海に代表される自然の豊かさ、音楽や食文化（飲食店）など多様な文化資源の存在が参加者の多くに共有されていることを示している。

討議2は、「チガサキカルチャーをいかしたチガサキのまちづくりを考える」というテーマに沿って、地域固有の資源を活用してどのようなまちづくりをしたらよいか議論した。出されたアイデアは、サザンオールスターズと茅ヶ崎の関係や山田耕筰が「赤とんぼ」を茅ヶ崎でつくった史実などを対外的にアピールする、海外に発信できるイベントを展開する、カルチャーセンターより一步進んだ内容のプロによる講座の実施、浜降祭にあわせてフェスを実施する、地元クリエイターが美術館敷地内で作品の展示販売するイベント（規制緩和が必要）、浜降祭のネット中継・配信、などであった。既存文化資源の活用のバージョンアップという点が共通していた。また、これらのアイデアの実施方法として、子どもたちを対象に口コミで情報を広げる事が有効では無いかという指摘がなされた。さらに、課題として、海側と山側の地域格差を解消することが必要という意見も出された。

全体として、目新しいものは少なかったものの、多くの参加者が賛同する地域固有の自然資源、文化資源が存在し、そのより高次の活用を行うことでまちづくりの次の段階への活動意欲が確認できた。その具体化のために、市民討議会に参加した市民を含め広範な市民が創造的まちづくりを主体的に担っていくことが望ましい。茅ヶ崎市はユネスコ創造都市に申請する準備に入ったが、これを契機に市民の活力ある文化のまちづくり活動を一層強力に展開していきたいと思う。

茅ヶ崎市文化生涯学習推進プラン推進委員長

横浜市立大学大学院都市社会文化研究科客員教授

野田邦弘

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き

- (1) 第1回実行委員会（3月14日）
 - ・実行委員会内での役割分担
 - ・テーマ候補から実施テーマを選定
 - ・実施に向けた実行委員会等スケジュールの検討

- (2) 第2回実行委員会（4月25日）
 - ・全体テーマの整理
 - ・候補日の調整
 - ・定員の設定

- (3) 第3回実行委員会（5月23日）
 - ・当日の開催時間
 - ・全体テーマ名
 - ・招待状の内容
 - ・討議の時間配分

- (4) 第4回実行委員会（7月3日）
 - ・各討議テーマ、内容の整理
 - ・情報提供者、内容の整理
 - ・抽選方法の決定
 - ・事前・事後アンケートの内容確認

- (5) 第5回実行委員会及び模擬討議会（8月3日）
 - ・模擬討議会を踏まえた調整

- (6) 令和5年度市民討議会開催（8月20日）

令和5年度「市民討議会」報告書

令和6年3月発行

編集・発行 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会